

第11回
広島肝臓プロジェクト研究センター
シンポジウムのご案内

日時 平成27年7月4日(土)
12:30 ~ 18:15

場所 ホテルグランヴィア広島
3階 天平の間

会費 500円

<プログラム>

開会のあいさつ

広島肝臓プロジェクト研究センター長 茶山 一彰

一般演題

12:35～ セッションI

ウイルス1

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学/茶山 一彰

広島大学大学院疫学・疾病制御学/田中 純子

1.カンボジア王国で検出された HEV genotype 4の全塩基配列の決定

山田 裕子¹、高橋 和明²、Olline Lim³、Somana Svay³、Chuan Channarena¹、Sirany Hok³、Son Huy Do^{1,4}、藤本 真弓¹、秋田 智之¹、後藤 昇⁵、片山 恵子¹、新井 雅裕²、田中 純子¹

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学¹、東芝病院 研究部²、カンボジア王国保健省³、Binh Thuan Medical College, Binh Thuan Province, Vietnam⁴、広島大学大学院社会科学研究所科マネジメント専攻⁵

2.miR-122非依存的なHCVの増殖

福原 崇介、小野 慎子、松浦 善治

大阪大学微生物病研究所分子ウイルス分野

3.B型肝炎ウイルスの粒子形成機構の解析

坂口 剛正、川端 涼子、福士 雅也、小田 康祐、入江 崇

広島大学大学院ウイルス学

4.RNA exosome regulation of HBV replication

Aly H Hussein¹、茶山 一彰²、渡士 幸一¹、加藤 孝宜¹、脇田 隆字¹

国立感染症研究所¹、広島大学大学院消化器・代謝内科学²

13:15～ セッションII

ウイルス2

座長:広島大学大学院ウイルス学/坂口 剛正

広島大学大学院消化器・代謝内科学/今村 道雄

5.HBV genotypeと核酸アナログの抗ウイルス効果

柘植 雅真^{1,2}、村上 英介^{1,2}、平賀 伸彦^{1,2}、阿部 弘美^{1,2}、今村 道雄^{1,2}、茶山 一彰^{1,2}

広島大学大学院消化器・代謝内科学¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

6.ヒト肝細胞キメラマウスを用いたHBV感染ヒト肝細胞の性状解析

石田 雄二^{1,2}、山崎 ちひろ^{1,2}、吉実 康美¹、柳 愛美¹、小川 裕子¹、古川 鈴恵¹、山尾 美香留¹、立野 知世^{1,2}

株式会社フェニックスバイオ研究開発部¹、広島肝臓プロジェクト研究センター²

7.糖鎖合成系を標的としたB型肝炎ウイルスに対する創薬研究の試み

伊藤 清顕、米田 政志

愛知医科大学肝胆膵内科

13:45～ セッションIII

炎症・線維化

座長:鳥取大学大学院遺伝子医療学部門/汐田 剛史

高陽ニュータウン病院/高橋 祥一

8.肝線維化のsurrogate markerとしてのWFA+-M2BPの基礎・臨床的意義

別城 悠樹、調 憲、吉住 朋晴、池上 徹、播本 憲史、伊藤 心二、内山 秀明、前原 喜彦

九州大学消化器・総合外科

9.マウス肝線維化におけるWnt/ β -cateninシグナルの関与

大澤 陽介、今村 潤、木村 公則

がん・感染症センター都立駒込病院 肝臓内科

10.形態制御によるマクロファージMMP発現誘導を用いた肝線維溶解療法の開発

松本 俊彦¹、藤澤 浩一¹、山本 直樹¹、高見 太郎¹、Stephen Jenkins²、John Iredale²、坂井田 功¹

山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学¹、Centre for Inflammation Research, University of Edinburgh²

11.選択的Wnt/ β -catenin/CBPシグナル阻害剤による肝線維症改善機序

徳永 優子¹、木村 公則²、小原 道法¹

東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト¹、東京都立駒込病院肝臓内科²

12.肝におけるオートファジーは脂肪酸流入による小胞体ストレスで障害される

宮川 恒一郎、大江 晋司、本間 雄一、原田 大

産業医科大学第3内科学

13.新規Drug Delivery Systemを用いた肝類洞内皮細胞のアポトーシス抑制の急性肝障害における効果の検討

田野井 智倫¹、田村 孝史¹、佐野 直樹¹、中山 健¹、福永 潔¹、村田 聡一郎¹、Afsana Akhter²、櫻井 遊²、林 泰弘²、原島 秀吉²、大河内 信弘¹
筑波大学消化器外科・臓器移植外科¹、北海道大学大学院薬学研究院薬剤分子設計学研究室²

14:45~15:00 Coffee Break

15:00~ セッションIV 細胞増殖

座長:株式会社フェニックスバイオ/立野 知世

広島大学大学院消化器・移植外科学/田代 裕尊

14.肝疾患に対する間葉系幹細胞肝細胞化シート移植の効果

坂場 則子、沖中 香織理、河野 洋平、汐田 剛史
鳥取大学大学院医学系研究科遺伝子医療学部門

15.培養CD34陽性細胞を用いた肝硬変ラットに対する効果的な肝再生治療

中村 徹^{1,2}、古賀 浩徳^{1,2}、池園 友^{1,2}、岩本 英希^{1,2}、和田 史孝^{1,2}、安倍 満彦^{1,2}、阪上 尊彦^{1,2}、上野 隆登^{2,3}、鳥村 拓司¹
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門¹、久留米大学先端癌治療研究センター肝臓部門²、社団法人朝倉医師会朝倉医師会病院³

16.肝細胞癌標的治療薬としてのDPP-4阻害剤の分子生物学的解析

仁科 憲治¹、山内 明²、小山 展子¹、富山 恭行¹、吉岡 奈穂子¹、原 裕一¹、日野 啓輔¹
川崎医科大学肝胆膵内科学¹、川崎医科大学学生化学²

17.マウス肝化学発癌におけるリン酸化型RXR α の役割に関する研究

境 浩康¹、山田 泰広²、白上 洋平¹、原 明³、清水 雅仁²
岐阜大学大学院消化器病態学¹、京都大学iPS細胞研究所²、岐阜大学大学院腫瘍病理学³

18.肝癌、慢性肝疾患の病態におけるmTORC1シグナルの役割

榎村 敦詩¹、西川 太郎¹、山口 寛二¹、森口 理久¹、角田 圭雄¹、伊藤 義人¹、Michael Karin²
京都府立医科大学大学院消化器内科学¹、カリフォルニア大学サンディエゴ校²

19.ウイルス肝癌感受性遺伝子MICAの発現調節機構とその制御による肝癌免疫療法開発

加藤 直也、後藤 寛、室山 良介、中川 良、伊藤 彩弥香、松原 康朗
東京大学医科学研究所先端ゲノム医学分野

16:00~ セッションV 免疫・代謝

座長:広島大学大学院消化器・移植外科学/大段 秀樹

大阪市立大客員教授/フェニックスバイオ学術顧問/吉里 勝利

20.DHCR24自己抗体のC型肝炎新規病態マーカーとしての評価

小原 恭子¹、木村 公則²、金子 周一³、小原 道法⁴
鹿児島大学共同獣医学部¹、東京都立駒込病院 肝臓内科²、金沢大学消化器病内科³、東京都医学総合研究所感染制御プロジェクト⁴

21.肝細胞癌合併生体肝移植症例に対するドナー肝由来活性化NK細胞療法の効果

谷峰 直樹^{1,3}、大平 真裕^{1,3}、田中 友加^{1,3}、石山 宏平^{1,3}、小林 剛^{1,3}、尾上 隆司²、井手 健太郎^{1,3}、田原 裕之^{1,3}、堀田 龍一^{1,3}、清水 誠一^{1,3}、矢野 琢也^{1,3}、田代 裕尊^{1,3}、大段 秀樹^{1,3}
広島大学大学院消化器・移植外科学¹、呉医療センター分子腫瘍研究室²、広島肝臓プロジェクト研究センター³

22.肝臓における核内受容体SHPの新たな生理機能の解明

土谷 博之¹、大橋 一夫¹、Li Wang²
大阪大学大学院薬学研究科¹、University of Connecticut²

23.MicroRNA-122は、ヒト肝星細胞において、PKR活性化因子PACTを標的として炎症性サイトカイン産生を抑制する

中村 昌人、神田 達郎、芳賀 祐規、佐々木 玲奈、姜 霞、呉 霜、中本 晋吾、横須賀 收
千葉大学大学院医学研究院消化器腎臓内科学

24.原発性胆汁性肝硬変(PBC)における標的細胞と攻撃細胞の階層的関係性

下田 慎治¹、久本 仁美¹、原田 憲一²
九州大学病態修復内科学¹、金沢大学形態機能病理学²

25.CD39による肝樹状細胞機能と肝虚血再灌流障害の制御

吉田 理^{1,2}、木村 鐘康¹、アンガス・トムソン¹、日浅 陽一²
ピッツバーグ大学スターツル移植研究所¹、愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学²

17:00~17:15 Coffee Break

特別講演 17:15~18:15

座長:広島大学大学院消化器・代謝内科学 茶山 一彰

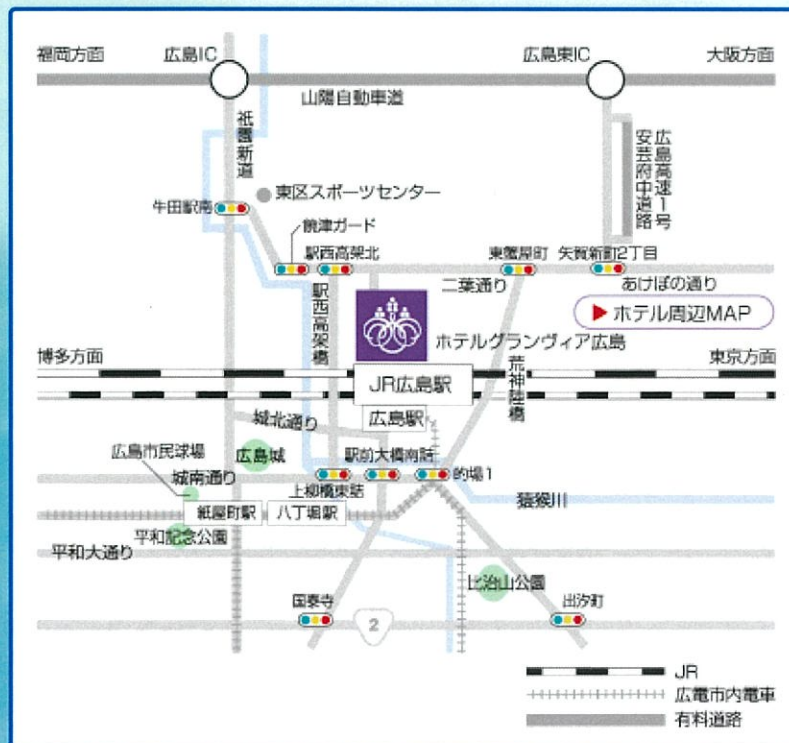
「ヒトiPS細胞由来肝細胞の創出と創薬研究への応用」

大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野
教授 水口 裕之 先生

おわりに

広島大学大学院消化器・移植外科学 大段 秀樹

本シンポジウムは、厚生労働科学研究費による補助を得ています
研究会終了後、意見交換会を予定しております



共催 / 広島肝臓プロジェクト研究センター・田辺三菱製薬株式会社